

ちょっとした、得する！耳寄り情報

Vol. 8

# てんこもり



発行：丸ス産業株式会社 「てんこもり」編集部  
TEL：0574-72-1318 FAX：0574-72-2739

さあ、新年度です！  
元気もてんこもりです！

読者の皆さん、どんな春をお過ごしでしょうか？私は、WBCにおける侍ジャパンの活躍に励まされ、今年も野球を続けることを決心し、今シーズンはイチローのようにコンー番で結果を出せる男をイメージしながら素振り（空振り？）にはげむ毎日です。こんな話題はさておき、読者の皆様には平成21年度も一層のご指導ご鞭撻の程よろしく願います。

さて今回は、読者の皆様からいただきました情報等を記事に盛り込み「てんこもり」にさせていただきますました。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございます。これからもわが編集部は、皆様にちょっとした耳寄り情報、少しだけ楽しい、ホッとする時間を提供させて頂けるようにこの「てんこもり」の発行をしますのでどうぞよろしく願います。

## メニュー その1 岐阜の宝ものご紹介

岐阜の宝もの第一号に認定された飛騨小坂の滝めぐりを『NPO法人飛騨小坂200滝』理事長の桂川淳平さんにご案内いただきました。御嶽山ろくこの地域には、御嶽大噴火で出来た高さ七十二段、幅百二十段の溶岩流の大岩壁『巖立』や、変化に富んだ地形のため、五段以

上の滝が二百箇所余りあり、でもOKです。中級以上は『NPO法人飛騨小坂200滝』でガイドをお願いして下さいます。実際に初級コース1番の現地を案内していただきました。がんだて公園から大溶岩流の巖立の絶壁(写真①)を見ながら榎谷を上流に



↑ ①大溶岩流の巖立の絶壁

始め、飛騨の滝写真展の人気No.1の無名の滝（平成二十一年二月に古田知事が『千畳の滝』と命名）などすごい滝や大自然があり、日本の秘境と言っても過言ではありません。

その滝めぐりは十三コース用意されています。初級、中級、上級に分かれていて、初級コースはガイド無し

歩きます。遊歩道はしっかりと整備され安全、安心で革靴でもOKです。しかしこれは初級コースのためその様になっていますが、中級以上は谷の横を歩くこととなり、服装や装備が必要となります。

『からたに滝』(写真②)です。ちょうど西日が射し込み虹が見えました。桂川さんに入ってもらい写真を一枚。こんな



↑ ②「からたに滝」の前で

0576-62-2215まで。http://www.skn200tk/by土井

命名の『千畳の滝』(写真③)。この滝はもつと奥にあり、現在、遊歩道の整備中で見るとは出来ません。今後の楽しみにして、いつか訪れたいと思いました。皆さんもぜひ、お問い合わせの上、大自然を大切にマナーを守って自然を満喫してください。問合せは『NPO法人飛騨小坂200滝』

最初に三ツ滝が見えてきました。これは3段の滝で本当に綺麗な水、神秘的で吸い込まれそうな滝壺、マイナスイオンがいっぱいで、すぐく癒されます。次ぎは少し上流の『あかがねとよ』と言う滝です。柱状節理の溶岩が長い間にわたって浸食され銅のような輝きに見えるところから『あかがね色』

すばらしい場所があることを初めて知り、皆さんにご紹介すると共に、もう一度ゆっくりと家族で滝の散策に訪れたいと思いました。しかし残念なのは古田知事命名の『千畳の滝』(写真③)。この滝はもつと奥にあり、現在、遊歩道の整備中で見るとは出来ません。今後の楽しみにして、いつか訪れたいと思いました。皆さんもぜひ、お問い合わせの上、大自然を大切にマナーを守って自然を満喫してください。問合せは『NPO法人飛騨小坂200滝』



← ③知事命名「千畳の滝」

メニュー  
その2

# ついでに の種



岐大  
学（社会  
資本アセ  
ットマネ  
ジメント  
技術研究  
センタ

1)の第1期ME養成講座が3月6日に終了しました。ME養成講座とは、岐阜県の防災・維持管理に主体的に携わった経験を持つ自治体職員および業界技術者を対象とした講座で、短期集中カリキュラムを受講することにより、共通の高度な知識を持った総合技術者（社会基盤メンテナンスエキスパート）を養成することを目的としたものです。私（筆者）も運よく養成講座を受講することが出来ました。具体的には、アセットマネジメントの基礎科目、設計演習、フィールド実習からなる20日の講義を受けるのですが、プロジェクトが文科省の科学技術振興調整費に採択されているので、受講するのに費用はいりません。講師の先生は

超一流です。受講生は幸せですよ。私の勝手な見立てですと、もしお金を払うのなら4万円/日といった感じですが（もつと高額だったらごめんなさい）。2月5日のME認定試験では、健全性を保持しながら継続的に社会資本を共用するための方策について、点検・調査、補修・補強などの維持管理計画を論述する内容が出題されました。八嶋センタ

1長からの叱咤激励のおかげもありまして、緊張は最高潮に：・神仏のご加護をもちまして、過度の精神的重圧にもめげることなく試験を終え、幸運にもMEに認定していたことが出来ました。MEには、新たな社会資本の整備、既存社会資本の維持管理・補修の計画・設計・実施技術をおとして地域の活性化に貢献することが期待されています。私を含め、ME第1期14名の皆さんが県民の期待に応えるべく努力する気持ちだと思います。（社会資本アセットマネジメント技術研究センター <http://www.pgiftu.ac.jp/ciam/>） by FAT かつう

メニュー  
その3

# 長寿命化対策 の流れ

2007年の米国で起こった道路橋の崩落事故を契機に、道路橋の長寿命化が強く叫ばれています。定期点検をしっかりと行い、点検で見つけた軽微な損傷に対しても素早く対応して行くことが、補修コスト低減の上からも重要視されてきました。各発注機関におかれましては、「道路橋の長寿命化修繕計画」を策定されるなどの取組を強化されておられるところかと思えます。弊社と致しましてもこうした社会的要請に対応すべく、ポリマーセメントモルタルを用いた橋梁の補修補強工法に取組んでいます。PP（ポリマーセメントモルタル）によるピア耐震補強（工法（右写真）、PSR（ポリマーセメントモルタルによるスラブ補強）工法がそれです。県内での採用も徐々に増えてまいりましたので、近



PP（ポリマーセメントモルタル）によるピア耐震補強（工法（右写真）、PSR（ポリマーセメントモルタルによるスラブ補強）工法がそれです。県内での採用も徐々に増えてまいりましたので、近

くに現場見学会等も御案内出来るかと考えておりますので、その節はどうぞ宜しくお願い致します。 by 安江

メニュー  
その4

# 稲葉池ウオーク で野鳥とトーク

3月29日に美濃加茂市加茂野町稲辺地内の稲葉池で「稲葉池ウオーク」が開催されました。可茂農林事務所は、県営農村環境整備事業（地域環境整備型）美濃加茂市西部地区で、ため池を地域資源として活用した環境整備を行なっているといつしやいます。稲葉池に飛来する野鳥や、池周辺の緑や里山環境創出に配慮するため、地域住民を主体に日本野鳥の会や、岐阜県国際園芸アカデミーが連携・協力・協働する「野鳥のいる水辺環境保全プロジェクト」は、「中部の未来創造大賞」優秀賞に入賞したとのことですので、こんなすばらしい



「中部の未来創造大賞」優秀賞に入賞したとのことですので、こんなすばらしい

環境のもとウオーキングができるということで娘と一緒に参加しました。お祝いの太鼓演奏を聴いた後ゆっくりと池の周りを歩きました。びっくりしたのは池に本当にたくさん種類の野鳥がいることです。その種類は20種以上だとか。娘も感動したらく必死にその姿をおいにかけていました。池の周りにはちよつと特殊な芝が張つてあるんですが、これはわが丸ス産業が施工をさせていた

余談でした：・笑 by 藤井



今回の「てんこもり」いかがでしたでしょうか？私達が最近気がなった事や楽しかった事、ちょっと得た事等を紹介させていただきます。皆様から色々なコメントお待ちしております。（自慢話、面白い・楽しいスポット紹介、サークル紹介等どんなことでも結構です。）写真をつけてください。最高です！こちらまでご連絡下さい。丸ス産業株式会社「てんこもり」編集部 責任者 藤井 TEL0574-72-1318 FAX 0574-72-2739 sfujii@marusu21.co.jp